

1. 授業の実際 授業校 千葉市立有吉小学校 指導者 鈴木 陽介

(1) 資料名 「上を向く」

(2) 本時のねらい 目標に向かって努力することの大切さを知り、めあての実現に向けて生活しようとする態度をはぐくむ。

(3) 本時の展開

過程	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導 入	1 「上を向く」とはどのようなことなのか、言葉の意味について考える。 ○どんなときに「上を向く」のですか。どんなときに「下を向く」のですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・テストで100点をとったときに上を向く。 ・うれしいときに上を向く。 ・うまくいかなかったときに下を向く。 ・つらいときに下を向く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「上を向く」のは、動作のことではないことを確認する。 ○イメージを統一するために、自分のがんばりが認められるときや、何かいいことがあって、晴れ晴れしい気持ちのときに「上を向く」ことを確認する。
展 開 前 段	2 資料を見て、松井選手の思っていることについて話し合う。 ○松井選手が「上を向く」のは、どんなときですか。 ○松井選手が悔しいとき、「上を向き」、何をしたいと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームランを打ったとき。 ・自分が打って試合に勝ったとき。 ・チームが優勝したとき。 ・うまくいったとき。 ・くやしさをばねにして練習する。 ・監督にアドバイスをもらって努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ポスターの「悔しい」の部分を隠し、黒板に提示することで、自由に内容を想起できるようにする。 ○自由に想起させることで、より多くのイメージをもてるようにする。 ○松井選手の悔しい思いに共感できるよう、その試合の打席がとても悔やまれるものになってしまったことを資料を読む前に補足する。 ○ワークシートに松井選手がしたことを具体的に書かせることで、どのような行動をしたのか想起できるようにする。

<p>展開 後段</p>	<p>3 これからの自分についてそれぞれの考えを話し合う。</p> <p>○あなたは困難にぶつかったとき、どのように行動をしましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かって努力する。 ・みんなと力を合わせて取り組む。 ・苦手なことにも取り組む。 ・苦手なことを克服できるように毎日続ける。 ・次に備えて準備をする。 ・うまくいかなかったところをふり返って、これからにつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の後半の言葉を読み聞かせ、「上を向く」こととは、具体的に何をする事なのか考えられるようにする。 ○自らのこれまでの経験や行動を具体的に振り返ることができるよう、うまくいわずに投げ出してしまうことや、投げ出さずに乗り越えられたことをワークシートに記述できるようにする。 ○話し合いを通して、自分と異なる立場の意見を聞くことで、行動の違いに気付いたり、考えを再構築したりできるようにする。
<p>終末</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○あなたはこれから「上を向いて」、具体的にどのような行動をしますか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○本時で学んだことを生かし、これからの生活につなげられるようにするために、これまでの自分のとってきた行動を振り返りながらワークシートに記述させる。

2. 成果と課題

- 話し合い活動では、子どもたちは一人一人の思いを尊重し、自らの思いや考えを深めることができた。
- 今回の中心的な内容は、「松井選手がなぜ上を向いていられるのか」ということであり、その価値を明確にすることで、ねらいに深く迫っていくことができた。
- 松井選手の抱えていた苦しさやつらさに、子どもたちが近づき理解することができていたのだろうか。松井選手について考えているときは、活発に意見が出ていたが、自分のことを振り返る場面では、そのことをあまり生かしていなかった。ワークシートからは、これからの目標に向けて努力をしていこうという思いは芽生えたが、松井選手と自分とのつながりがあまり感じられなかった。価値の自覚を促すための時間配分について課題が残った。

(文責 有吉小 鈴木 陽介)